

7 週

構想した学校とチーム学習の評価

今週の目標：

- ・ 前回のポスターセッションの評価から発見した改善点を活かして、構想した学校を修正する。
- ・ 自分たちのチームの学習を振り返り、今後の進め方を検討する。
- ・ 個人で提出する中間レポートの準備をする。

演習 (1) チームで構想した学校の改善点を確認して修正しよう

>> 06-1 チーム発表の評価(チーム) 前回のポスターセッションで回収した評価シート

チームで理想の学校を構想する中で、教育で取り組んでいるのは基礎基本の重視であったり、地域社会との協力や情報技術の導入であったりすることを学んできました。しかし、ここで注目したいことは、時々政治的社会的な課題が学校教育を動かしているように見えながらも、その底流にある確実な教育の発展です。それを見極めることが教育を考える上で重要です。そこで、前回のポスターセッションの反省から確認できた改善点をもとに改めて基本的な事項を見直して、チームの学校を修正しましょう。

演習 (2) これまでのチーム学習の反省と今後のチーム学習の進め方を検討しよう

>> 06-2 チーム学習の評価(個人) 07-1 後半のチーム学習 07-2 チームの機能不全診断テスト
07-3 チームの規範を作ろう 2(チーム)

今週は学習の折り返し地点に相当しますので、これまでのチーム学習についての反省と、これからのチーム学習の進め方について検討しましょう。

《チームで考えるポイント 例》

- ・ チームの役割分担は適切であったか
- ・ チームの情報交換の方法は適切であったか
- ・ 学習の進め方は効率的であったか
- ・ チームで機能不全に陥りやすい弱点はどこか(07-2 チームの機能不全診断テスト)
- ・ 後半のチーム学習におけるチームの規範 (07-3 チームの規範を作ろう 2(チーム))

など

次週講義終了時提出

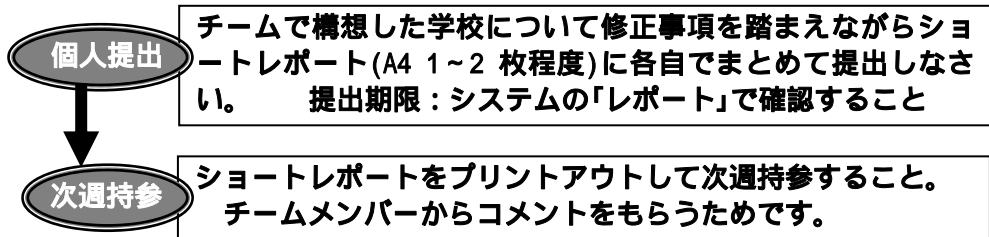
07-3 チームの規範を作ろう 2 (チーム)

講義
宿題

(3) レポートを執筆する時のルール >> 07-4 レポートを執筆する

レポートや論文を書くときには、一定のルールを守らなければなりません。たくさんルールが存在しますが、特に著作権などの人の権利に損害をきたすようなルール違反には気をつける必要があります。参考文献や引用文献、参照 URL(インターネットのアドレス)をしっかりと示しましょう。また、他人の個人ポートレート(写真)を載せないこと、HPの画像や資料を使用するときは許可を得て、出典を明らかにしておくこと、なども気をつけましょう。

- 推奨参考文献1 「だれも教えなかった論文・レポートの書き方」
阪田せい子 ロイ・クラーク 著 総合法令出版 1998.3
- 推奨参考文献2 「レポート・論文の書き方入門」
河野哲也 著 慶應義塾大学出版会 2002.12



今後のスケジュール

7 週目 ポスターセッションの反省、構想の修正、チーム学習を振り返る、中間レポートのプロットを考える

個人課題： 構想した学校のまとめ(A4 で 1~2 枚 = 中間レポート)に学習管理システムに提出

8 週目 チーム内で中間レポートの評価 チーム内で構想した学校の認識のズレを確認

9 週目 メインテーマ「多様な学習者の学力を向上させる」(対象教科：国語，算数・数学) に対して、自分ならどのように取り組むかのサブテーマを決める

個人課題： サブテーマに即した情報を集めて A4 で 1~2 でまとめる